

平成27年3月27日
伊賀市
近畿日本鉄道株式会社
伊賀鉄道株式会社

伊賀線の公有民営方式への移行について

このたび、伊賀線の事業形態について、平成29年4月から、近畿日本鉄道㈱に代わり、伊賀市が第三種鉄道事業者となり、伊賀線を「公有民営方式」へと移行することを、伊賀市、近畿日本鉄道㈱および伊賀鉄道㈱で合意に至り、本日確認書を交換いたしましたので、お知らせいたします。

伊賀線は、平成19年10月から、近畿日本鉄道㈱が第三種鉄道事業者、伊賀鉄道㈱（近畿日本鉄道㈱・伊賀市による共同出資）が第二種鉄道事業者となり、鉄道事業を営んでまいりました。平成28年度までは伊賀鉄道㈱の運営に伴い発生する赤字について、近畿日本鉄道㈱と伊賀市で支援するという枠組みで事業を行ってありますが、今後、事業環境はますます厳しくなる見通しであり、平成29年度以降の伊賀線の事業形態について、三重県も交えて、伊賀市、近畿日本鉄道㈱および伊賀鉄道㈱で検討を重ねてまいり、本日の合意に至ったものです。

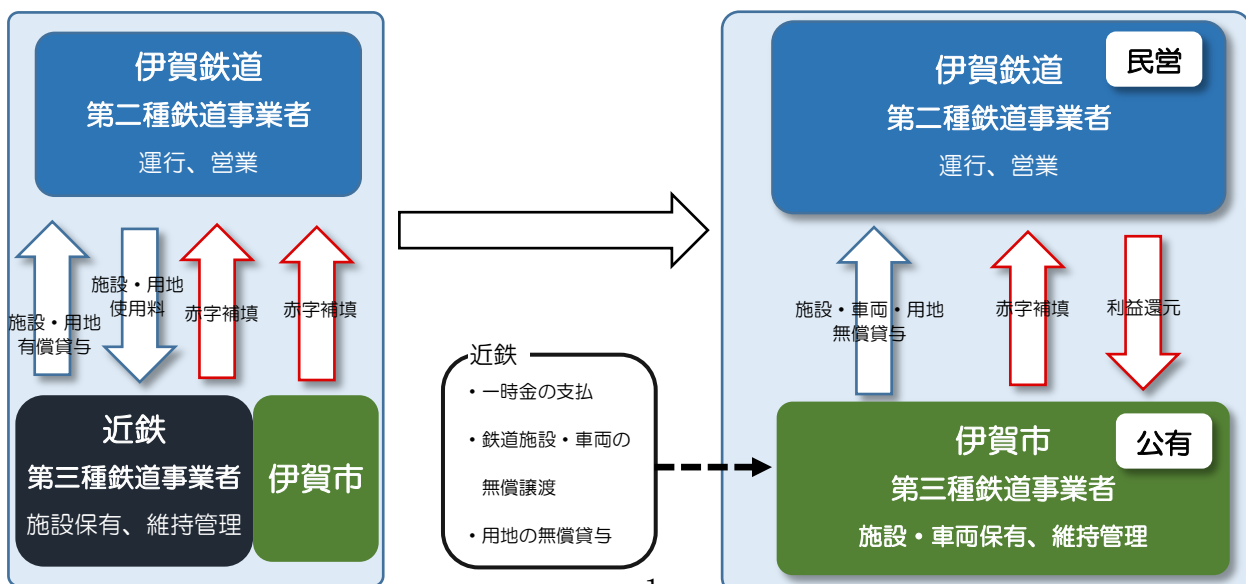
（ご参考）

- ・ 公有民営方式…鉄道用地・施設などを自治体が所有しそれらを鉄道運行事業者に無償で使用させる、「上下分離方式」。
- ・ 第二種鉄道事業者…第三者の線路を使用して鉄道事業を営む者をいう。
- ・ 第三種鉄道事業者…線路を所有し、第二種鉄道事業者に当該線路を使用させる者をいう。

■ 公有民営方式スキーム図

（参考） 現行スキーム
（平成28年度末まで）

公有民営方式
（平成29年度以降）

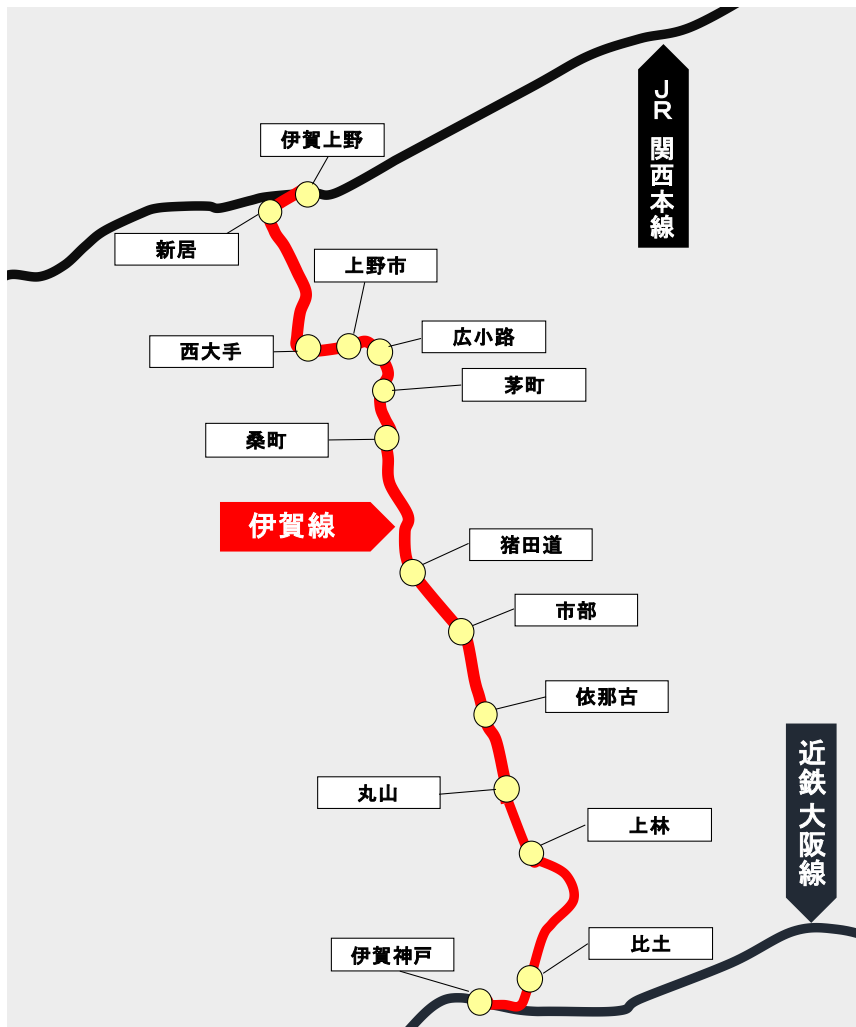


■伊賀鉄道の概要

営業キロ程	伊賀上野・伊賀神戸駅間
および駅数	16.6キロ、14駅
軌間	1.067メートル
沿線自治体	三重県伊賀市
輸送人員	164万人/年
輸送密度	2,811人/日
営業収入	254百万円
経常損益	△316百万円
資本金	50百万円
出資割合	近鉄98%、伊賀市2%

(注) 表中の各数値は、平成25年度実績。

■路線図



■これまでの経緯と今後の予定

大正	3年	7月	伊賀軌道設立（大正6年に伊賀鉄道へ改称）
	5年	8月	上野駅連絡所（現・伊賀上野）～上野町（現・上野市）間開業
	11年	11月	上野町～名張（のちの西名張）間延伸開業
昭和	19年	6月	会社合併により、近畿日本鉄道㈱の伊賀線となる
	39年	10月	伊賀神戸～西名張間運輸営業廃止
平成	19年	3月	伊賀鉄道㈱設立
		10月	上下分離方式による形態での営業開始（伊賀鉄道㈱が第二種鉄道事業者、近畿日本鉄道㈱が第三種鉄道事業者）
	25年	8月	平成29年度以降の体制を検討するため、「伊賀鉄道伊賀線を支える仕組み構築勉強会」を発足（メンバー：伊賀市、伊賀鉄道㈱、近畿日本鉄道㈱、三重県） 公有民営方式による鉄道存続、バス代替案等を検討
	26年	12月	伊賀市が「公有民営方式」による鉄道存続の方針を表明
	27年	2～3月	「伊賀鉄道伊賀線の維持存続について」の住民懇談会を実施
		3月	伊賀市、近畿日本鉄道㈱、伊賀鉄道㈱にて、公有民営方式への事業形態変更に関する確認書を交換
平成	27年度中		地域公共交通網形成計画の策定、国へ送付 鉄道事業再構築実施計画の策定
平成	28年度中		国への鉄道事業再構築実施計画の認定申請 国による鉄道事業再構築実施計画の認定
平成	29年	4月	公有民営方式での運営開始

以 上